

2020年度金沢大学大学院法学研究科(修士課程)

第1期募集 入学試験問題

(1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	法学・政治学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	民法		

以下の【問題】に答えなさい。答えは解答用紙に記入すること。なお、2019年4月1日現在施行されている民法に基づき解答すること。

【問題】

2016年5月、A女は、内縁関係にあったX男の実印と権利証等をXに無断で持ち出し、X所有の土地(以下、「本件土地」とする。)をAに売却したとする所有権移転登記を行い、A名義とした。

Xは1週間後、この事実を知り、Aを非難したが、子どもができたため、2016年9月にAと婚姻することになったこともあり、A名義のままにしていた。さらに、2017年3月にXがB銀行との間で貸付契約を締結する際にも、A名義のまま本件土地に抵当権設定登記がなされた。

その後、XとAの婚姻関係は破綻し、XがAに登記名義の回復を迫ったこともあって、2019年7月、Aは事情を知らないYに対して本件土地を売却し、Yへの所有権移転登記もなされた。

そこで、XはYに対して、本件土地の所有権移転登記の抹消手続を請求した。この場合、Xの請求が認められるか論じなさい。